

「自己防衛」

岩沼市立岩沼中学校 3 年

三浦 蒼海さん

高齢化社会—その裏で、詐欺師たちが笑っています。特に、電子機器の操作に慣れていない高齢者は、詐欺師の標的になりやすい存在です。高齢者でなくても気をつけねばなりません。

私は最近、自分の使っているスマートフォンに、いわゆる詐欺メールがよく届きます。注文してもいないのに、宅配業者を装った迷惑メールが届いたり、身に覚えのない番号から電話がかかってくるのです。

私が実際に騙されそうになったのは、宅配業者の不在通知を装ったメールの詐欺です。自分のスマホで商品を注文し、届くのはいつだろうと心待ちにしている中、私のスマホに一通のメールが届きました。

「〇〇急便よりお荷物のお届けに上がりましたが宛先不明のため、持ち帰りました。」
そんな伝言と一緒に URL が添付されていました。私の注文した商品が届いたのだと思い、初めての経験だったので、母に相談しました。すると母は、これは詐欺だよと見抜いたのです。自分は詐欺なんかには騙されないだろうと思っていたので、すごく驚いたのを覚えています。これが祖父母だったら、確実に騙されていたろうと思います。

この経験から、私は詐欺への危機意識が高まり、メールや非通知電話に慎重になりました。

しかし、詐欺の本当の恐ろしさは、年々巧妙化しているところです。

例えば、警察官になりました詐欺があります。警察官という存在は、私たちにとって、安心・安全の象徴です。信頼できる人の情報は信じやすく、嘘をついているとは思えないのです。こうした人間の心理を利用して、詐欺の手口は年々巧妙化しているのです。

では、こうした詐欺に騙されないために私たちができることは何でしょうか。

私は、「自己防衛」だと思います。詐欺に騙されないための自己防衛策としてよく挙げられるのが、「簡単に信用しない」ことです。私自身すごく騙されやすいタイプなので、こうした自己防衛策を、ポスターなどで呼びかけることで、自己防衛力を高め、騙されにくくなるのではないかと思います。

現在は、SNS が普及し、誰もが気軽にインターネットを利用できます。しかし、それに伴って詐欺被害は年々増加しています。詐欺被害に遭わないためには、自分の身を自分で守れるようになる術を身につけることが大切だと考えます。高齢化が進む今、詐欺被害は増加しかねません。自己防衛力を高めることは、詐欺被害の大きな抑止力に繋がると思います。

「自己防衛」—その力を高めることが詐欺被害減少の大きな一歩となるはずです。